

# 2024年 赤とんぼも育てる減農薬米

# 稲作ごよみ

福岡市農業指導センター  
福岡普及指導センター  
福岡市農業振興課  
福岡市東部農業協同組合  
福岡市農業協同組合

5月	6月		7月		8月		9月		10月	
	下	上	下	上	下	上	下	上	下	中
浅水	浅水	中干し	浅水	間断かん水	浅水	間断かん水	浅水	間断かん水	浅水	間断かん水
活着	分けつ期	穂分け期	穂分け期	穂分け期	穂分け期	穂分け期	穂分け期	穂分け期	穂分け期	穂分け期
田植	坪当たり 60株植	田植	坪当たり 60株植	田植	坪当たり 60株植	田植	坪当たり 60株植	田植	坪当たり 60株植	田植
出穂期	7/31	8/19	8/26	9/2	9/26	10/6				
収穫期	9/2	9/26	10/6							

**夢つくし** 元気つくし

出穂期・収穫期の目安

	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ
出穂期	5/25	6/20	6/20
収穫期	7/31	8/19	8/26

**レンゲ播種**

10a当たり 2~3kg/10a

**刈り取り後の注意 (出荷時水分14.0~15.5%)**

- 刈り遅れのないように。(「収穫期の穂の姿」を参照して下さい)
- 乾燥は……低温で、ゆっくりと……。

**目標水分15% (もち米は14%)**

刈り取り → 乾燥機投入 → 熱乾燥 → 加熱 → 一旦休止 → 水分の平均化 → 熱乾燥 → 加熱 → 停止 → 熱冷まし → 粗出し荷

**低コスト除草剤**

- サラブレッドKAIフロアブル 田植時~10日まで 10a当たり500ml
- サラブレッドKAIフロアブル 田植直後~10日まで 10a当たり10袋(400g)
- サラブレッドKAIフロアブル キロ粒剤 田植時~10日まで 10a当たり1kg
- ガンガン豆つぶ250 田植3日後~10日まで 10a当たり250g

**ジャンボタニシ対象薬**

- スクミン・1~4kg/10a(収穫60日前まで)
- スクミンベイト3・2~4kg/10a(発生時)

**JAグループでは、より安心して食べていただけるお米を安定供給する『JA米』ブランドの確立を目指しています。JA米とは下記の3つの条件を全て満たしたお米です。**

- ①品種確認できた種子により生産した米穀であること。
- ②農産物検査を受検した米穀であること。
- ③栽培履歴記帳を確認した米穀であること。

左記要件を満たさない米穀は一般米となりますのでJA米とは分けて出荷して下さい。

**箱施薬**

- スクラム箱粒剤・50g/箱(移植3日前~移植当日まで)
- いもち病・紋枯病・もみ枯病・ウンカ類・コブノメイガ
- 防人箱粒剤・50g/箱(は種期~移植当日まで)
- いもち病・もみ枯病・ウンカ類・コブノメイガ

**粉剤体系**

- ノンプラスレバリダ粉剤DL・3kg/10a(収穫14日前まで)
- いもち病・紋枯病・こま葉枯病・ウンカ類・コブノメイガ
- エクシード粉剤DL・3kg/10a(収穫7日前まで)
- ウンカ類・カメムシ類

**水和剤・水溶剤等** (使用後器具を3回以上洗浄)

- ノンプラスフロアブル・1000倍(収穫7日前まで)
- いもち病・稲こらじ病
- スタークル顆粒水溶剤(収穫7日前まで)
- ウンカ類3000倍 カメムシ類2000倍
- ウンカ類・カメムシ類(ただし、出穂期間使用不可)
- キラップフロアブル・2000倍(収穫14日前まで)
- ウンカ類・カメムシ類

作業管理記録簿	種子消毒	播種	元肥	田植	除草	穂肥	落水	稲刈り
月日		月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
方法			肥料名	坪 株植		肥料名		
農薬名			施肥量		農薬名	施肥量		

一番こわいのは、気づかぬうちにジワジワ体をおかす慢性中毒です。

- ①マスクは常識 ②妊娠中、生理中、体の調子が悪いときは、散布しない。
- ③散布途中はタバコを吸わない。終わってから酒を飲まない。
- ④散布が終わったらうがいをし顔をせっけんで洗う

**除草剤のめやす**

●初期除草剤

- ①ウイニングランジャンボ 田植直後~10日、10a当たり10袋(500g)
- ②ブライオリティジャンボ 田植直後~12日、10a当たり10袋(250g)
- ③ジェイソウルジャンボ 田植後1~10日、10a当たり10袋(450g)
- ④ポデーガードプロ1キロ粒剤 田植後5~12日、10a当たり1kg
- ⑤ポデーガードプロジャンボ 田植後5~12日、10a当たり10袋(300g)

●中後期除草剤

- ⑥クリンチャーバスME液剤 田植後15日~ノビエ5葉期 100倍(落水後散布。散布後3日間は入水しない)
- ⑦アトトリ豆つぶ250 田植後14日~ノビエ4葉期 10a当たり250g

**肥料のめやすと土づくり**

肥料のやり方

- ・元肥をすきこんだ後は、なるべく早く水を入れましょう。
- ・穂肥は出穂20日前頃です。なお、葉色をみて早めたり、遅めたり、量を控えたり、やめたりします。
- ・有機質肥料は肥効が遅く、長く効きますので、穂肥に使うときは化学肥料の場合より7~10日早めに施用しましょう。

①施肥

品種	ヒノヒカリ		夢つくし		元気つくし		
	元肥	穂肥	元肥	穂肥	元肥	穂肥	穂肥2
有機質肥料利用型	赤とんぼの里40kg	赤とんぼの里30kg または 粒状なたね油粕60kg	赤とんぼの里40kg	赤とんぼの里20kg または 粒状なたね油粕40kg	赤とんぼの里40kg	赤とんぼの里20kg または 粒状なたね油粕40kg	赤とんぼの里15kg または 粒状なたね油粕30kg
有機質肥料一発型	有機エムコート077 70kg	—	—	—	—	—	—
元肥一発型	LP2000 35kg	—	エムコート48号 35kg	—	LP2000 35kg	尿硫燐48号 0~10kg (葉色が薄い場合)	—
慣行型	尿硫燐48号 25kg または ベスト化成444 30kg	赤とんぼの里35kg または ベスト化成444 20kg	尿硫燐48号 25kg または ベスト化成444 30kg	赤とんぼの里20kg または ベスト化成444 15kg	尿硫燐48号 25kg または ベスト化成444 30kg	赤とんぼの里20kg または ベスト化成444 15kg	赤とんぼの里15kg または ベスト化成444 10kg

②土壌改良材

土壌改良材名	施用量のめやす	土壌改良材名	施用量のめやす
粒状ミネラルG	—	珪酸加里	—
ケイカル	200kg/10a	パワーリン5号	40kg/10a
ケイ鉄	—	アズミン	—

③有機物の投入

- ・化学肥料だけに頼らず、有機物を積極的に使い土づくりを心がけます。
- ・ただし、右表を目安にして、チップ成分が多すぎないように注意しましょう。
- ・堆肥は多すぎないように、適正量を遅くとも3月までに入れましょう。

**地球温暖化防止**

稲わらは秋にすき込み、腐熟を進めましょう!

(田植後、メタンガスの発生が少なくなり、地球温暖化防止に役立ちます)

**(深耕は基本です)**

有機物の種類	成分(%)			田んぼでのめやす(10a)
	チッソ	リン酸	カリ	
レンゲ	0.4	0.1	0.3	4~5t
牛ふん堆肥	0.5	0.4	0.4	2t
乾燥鶏ふん	4.0	4.5	2.5	100~200kg
生鶏ふん	1.6	1.5	0.9	200~300kg

**栽培履歴を記帳しましょう。大切なのは「根を活かす稲作り」**

普及センター 092-806-3400 | 営農生活課 092-621-4696 | 育苗センター 092-691-8180 | 多々良農業倉庫(土井倉庫) 092-691-3007

令和6年1月作成